

未来は私たちの手で変えられる！

近藤 恵 仙台講演会

ソーラーシェアリングの社会的受容

～食料とエネルギーというインフラを**農家**が支える～



2023年

2/18(土)

13:30～15:30 開場13時

参加費無料

予約不要

会 場：エルパーク仙台 6F ギャラリーホール（仙台市青葉区一番町四丁目11-1）

主 催：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ

お問い合わせ：022-796-5272（平日10～16時）、または、izumi@tohoku.uccj.jp

ご来場の際はマスク着用等、感染症予防対策へのご協力をお願いいたします。



講師プロフィール 近藤 恵(こんどう けい)さん

1979年東京都生まれ。基督教独立学園高等学校、筑波大学卒業。全国愛農会、千葉県成田市、福島県二本松市、それぞれの地で有機農業の先達に師事。2006年より二本松市で専業有機農業経営。2019年福島教会にて受洗。

3.11原発事故に被災し農業を一時廃業。2021年よりソーラーシェアリングで営農法人として農業復帰。株式会社Sunshine、二本松営農ソーラー株式会社、二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社、各社の代表取締役。

映画「原発をとめた裁判長 そして、原発をとめる農家たち」(2022年公開・小原浩靖監督)では、樋口英明元福井地裁裁判長や河合弘之弁護士などと出演した。

『国富』とはなにか。足元の資源をいかすこと

私たちは、ソーラーシェアリングを「現代版2毛作」と呼んでいます。昔の2毛作は1年の時期を2つに利用しましたが、現代版2毛作は空中と地面の2つを利用します。また、農業と発電事業の兼業農家とも言えます。ソーラーなんて、不動産投資のようで、農家にはそぐわない事業だと考える向きもあるでしょう。しかし、いまでは、全国各地で農業者こそがエネルギーを生み出す有力な役割を担っています。農地にはそもそも太陽光が良く降り注ぎますし、農業者は発電所の保守管理で一番大事な、設備の異常をすぐに察知するからです。

日本という国は、先進国ではまれに見る自給率の低い国ですが、このようなソーラーシェアリングという働きが、もっと集まることで、日本の食料自給率も、エネルギー自給率も向上させる、「国富」という実を实らせることでしょう。国土の狭い日本では、平地の農地を有効に使うことが求められているのです。

ニューヨークの国連広場の大きな壁に、平和を願う各国共通のビジョンとして次のような、旧約聖書の言葉が掲げられています。

彼らは剣を打ち直して鋤とし

槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かって剣を上げず

もはや戦うことを学ばない。(イザヤ書2章4節)

平和をつくる具体的なアクションとして、ソーラーシェアリングを位置づけ、農業もエネルギーも学びをつづけています。

二本松営農ソーラー株式会社

株式会社Sunshine 代表取締役 近藤 恵

会場アクセス

エルパーク仙台 6F ギャラリーホール

仙台市青葉区一番町四丁目 1 1-1 141ビル 6 F



☎ 022-268-8300

(141ビルとは仙台三越定禅寺通り館の別称です)

- ・仙台市市営地下鉄南北線 勾当台公園駅 南1番出入口より地下道で連結
- ・バス 商工会議所前、または、定禅寺通り市役所前下車すぐ

